

職場に残そう、 労働運動！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA 班新聞

労働者はもっと声を出そう！

JRのぶれぶれ対応

一部利用者から非難、苦情が殺到してしまっただ京葉線の快速問題について、千葉支社はまたまたわけの分からない中途半端な発表（9月に数本各駅停車を快速に変更する）を行ないました。今年のダイヤ改から乗

車機が増えた各駅停車の利用者は、再び不便にされることで、習

志野市長も含め、怒るのも当然であります。組合はどうしたか？乗務員は？！

傾けなかった結果であることは間違いありません。

では、組合の対応はどうだったでしょうか。また、現場で働く私たち乗務員はどうだったでしょうか。私の周りでは「利用者が困ってる、会社が悪い、元に戻すべき

だ」といった非常に短絡的な声が多かったように思います。まさか、会社に反対していれば組合の体裁が保てると思ってるわけではないと思います。



してほしいと思います。労働者は、人任せの議論ではなく、自分たちの立場で物事を考え、声を出していくべきではないでしょうか。労働組合として、もっと会社に喝を入れられるようになりたいものです。

某運輸区内報、 不適切掲載を考える

まず最初の問題点は・・・

人身事故を起こした運転士に対して、区報委員がインタビュー形式で（一部略）「率直な気持ちは」「やってもうた」「最年少記録のお気持ちは」「歴史に残る記録を作れた」という馬鹿としか言いようのないやり取りをそのまま掲載、発行し、更には外部にまで広がり、現在大炎上しつつある事象であります。

人の死に関することで、笑いを取ろうとするなどもってのほか！勿論、運転士のメンタルバランスも心配ではありますが、命を落とされた方、その遺族への配慮とか考えなかったのでしょうか。最低です。

この職場は一体何なんだ??!!

当該運転士ばかりがやり玉に挙がっていますが、同じ物書きの立場から言わせてもらおうと、受けを狙おうとしたインタビュア-が誘導し、まんまとひっかかってきたという感じがします。まず責められるのはこの区報委員であります。しょうもない馬鹿です。

社内報は必ず、責任者（この場合は管理者）がいてチェックし、問題があれば指摘し、最終的に発行の許可を出すものですが、これもいい加減だったことが伺えます。更にこの管理者は、ニュースで取り上げられた際「社員同士の誹謗中傷ではないとして、掲載を許可した」とコメントしています。失われた命のことは考えなかったのでしょうか。こんな程度の管理者で、この職場大丈夫なんでしょうか。

そして今回、こんなにも炎上してしまった原因がこれを外部に出してしまったことです。そいつも決して「内部告発が目的」とかではなく、ただ単に面白半分だったのではないかと思います。最低！

SNSの恐怖！当該運転士を守れ！

色んな馬鹿が重なってしまった今回の事象ですが一番危惧するところは、SNSで拡散され、やもすると大炎上となり、当該運転士への手に負えない誹謗中傷が起こってしまうのではないかとことです。ただでさえJR社員の揚げ足取りがいっぱいいる中で・・・SNSをめぐる数年前の女子プロレスラーの自殺は、決して他人事ではありません。

早急に沈静化されることを望みますが、万が一の場合には、いち職場だけの問題ではなくなります。会社は毅然とした態度で、この問題にも向き合い、当該運転士を守ってほしいと思います。

皆さんはどう考えますか？

☆ ↑ あまりの常識のなさに恐ささえ感じましたが、当区の若い人たちは大丈夫なんでしょうか？